

令和3年度第2回 国立大学法人新潟大学物品・役務等契約監視委員会 議事概要

開催日時及び開催方法	令和4年2月10日（木） 13時15分～16時00分 Zoomによる開催
委員	委員長 田代文俊（監事）, 委員 逸見和宏（監事）, 委員 土田啓子（監査室長）, 委員 山田 寿（弁護士）
審議対象期間	令和2年度（令和2年4月1日～令和3年3月31日）
抽出案件	政府調達（総合評価） 1件, 政府調達（最低価格） 2件, 一般競争 3件, 随意契約 3件 計 9件
質疑応答部署	財務部財務管理課, 学術情報部学術情報管理課, 医歯学総合病院管理運営課
委員からの質問・意見等, それに対する回答等	下記のとおり
委員会による意見の具申, 勧告の内容	不適切な点, 改善すべき点はなかった。

【審議事項】 令和2年度に締結された契約のうち, 抽出された契約の審議

※文中の業者名は非表示としている。

1. ヘリウム再凝固装置（政府調達・最低価格）

質問・意見等	説明・回答
参考見積書の徴取が1社のみであるが, ほかに参考見積書の徴取は出来ないものか。	応札の意思のない社からの参考見積書の妥当性の判断がつかかぬため, 応札の意思を示した社にのみ徴取している。本件は, 応札者が1社のみであったため, 参考見積書の徴取も1社のみとなったものである。
仕様書は誰が作成しているのか。	学内に設置する仕様策定委員会において審議・作成を行っている。本委員会は, 5人以上で構成し, うち1人は, 事務職員が委員となっている。
概算要求していた物品と金額が異なるようであるが, 概算要求していた物品と別の物品であるのか。	概算要求していた物品は多数の物品から構成されるシステムであり, 本件はその一部である。この件のほかの物品は, まだ納品されていない。

2. 教育実習期間における長岡地区宿泊施設借上（一般競争）

質問・意見等	説明・回答
キャンセル期間が生じているが, キャンセル料は支払っているのか。	キャンセル料は支払っていない。 本件は, 単価契約を行っており, 実績額（単価×泊数）を支払っている。
前回は随意契約で, 今回は一般競争となっている理由は何か。	前回の■■■は, 参考見積額が格安であること, これまでの状況も承知していること, 及び, 部屋数の確保も可能であったことから, 本学にとってメリットとなる要因が多数あり, 随意契約としていた。今回は, 新型コロナウイルス感染症の関係で必要となる部屋種が変わり, ■■■の参入が難しくなったためである。
ホテルの料金を見積もるなどの調査は出来ないものか。 また, 他大学への照会を行っているのか。	ホテルの料金は, 時期や近隣の状況により設定されるので, 大学職員が見積もることは, 大変困難である。 また, 他大学への照会を行ったが, どの大学からも回答は得られなかった。
応札した1社からの参考見積書で予定価格を作成しているが, 他の近隣ホテルから参考見積書を徴取したり, 打診することは出来ないものか。	近隣ホテルには調査を行ったが, 本学が要望する期間中の部屋数の確保が難しい状況であったり, 競争参加資格がなかったりというのが現状である。

3. 内視鏡手術支援ロボット（賃貸借）（政府調達・総合評価）

質問・意見等	説明・回答
<p>前回の▲▲▲が、今回応札してこなかった理由は何か。また、前回のリース期間終了から今回のリース期間開始まで間があいているがこの間はどのようにしていたのか。</p>	<p>政府調達なので、公示しているが、前回の▲▲▲の参加はなかった。理由は確認していない。また、政府調達であったため、手続き等に日数を要し、前回契約から間があいてしまったが、リース期間の変更契約を行い、対処した。 （追加回答R4. 2. 21） 本件は、米国インテュイテブサージカル社製であり、本邦においては、2009年薬事承認され、総販売代理店として前回の▲▲▲が製品の普及及び販売拡大を進めてきたが、2014年6月26日に他の合同会社に業務移管（事業継承）したことにより、前回の▲▲▲の参加は無かった。また、政府調達であったため、手続き等に日数を要し、前回契約から間があいてしまったが、リース期間の変更契約を行い、対処した。</p>
<p>買取りにせず、リースにする理由は何か。</p>	<p>買取りも検討を行ったが、値引き率がなくリースの方が安価であった。 （追加回答R4. 2. 21） 機器の特性（機能アップサイクル）や先進医療提供の考え方、収支計画など総合的に判断し、本件は5年間のリース契約としたものである。</p>
<p>本件を使用した手術は1年で何件か。</p>	<p>確認し、後日回答することとした。 （追加回答R4. 2. 21） 令和3年1月から12月までの1年間で103件である。</p>
<p>機器の落札者である●●●がリースを行うものか。リース会社は、別に比較できないものか。また、過去に●●●が使用しているリース会社を調査できないものか。</p>	<p>応札業者は、競争参加資格が必要であるが、資格審査の中で医療機器販売としているので、リース会社が単独で応札出来ない。また、仕様書にリースが組み込まれ、セットになっている。 （追加回答R4. 2. 21） リース会社は、機器調達が主であり、導入医療機器のメンテナンスを含む運用においては専門ではないため、当該機器のアフターサービスが可能な業者と連携を組み入れに参加してくる。 リース業者主導でアフターサービス業者を選定するか、アフターサービス業者主導でリース業者を選定するかは、入札参加業者の考え方であり、公平性・競争性の観点から本学は関与できないと考える。</p>

4. ドクターヘリ運航業務委託（政府調達・最低価格）

質問・意見等	説明・回答
<p>予定価格積算内訳書にある単価は、何を参考にしたものか。</p>	<p>積算資料に掲載されている数値を参考にした。</p>
<p>国の補助金額を超える入札金額は落札とはならないのか。</p>	<p>予定価格に達しなければ、再度、入札を行う。</p>
<p>国の補助額は、落札額のどれくらいを占めるのか。</p>	<p>国からの委託事業であるため、全額が補助金である。</p>

5. メラ遠心血液ポンプシステム (随意契約)

質問・意見等	説明・回答
緊急性の観点で随意契約としているのか。また、随意契約理由書は、財務部等に確認しているのか。	会計規則第43条第1項第2号に規定する緊急の必要により随意契約としている。また、随意契約理由書については、財務部財務企画課会計法規係の承認を得ることになっている。
契約事務取扱規程においては、随意契約の場合は2社以上の見積書を徴取することになっているが、本件は落札者である□□□のみからしか徴取していないのか。	本件については、新潟県内では落札者である□□□のみの取扱いであるため、1社からの徴取となっている。
新潟県内だと、医療機器を取扱う業者は少ないのか。	医療機器業者の合併等もあり少ない状況である。
新潟県外からの参入は難しいものか。	本件は、緊急性を考慮し、県内業者としたものである。調達するものにより異なるが、通常、一般競争の場合は、全国どこでも参加出来るが、結果的に、1社というのが現状である。

6. リアルタイムPCRシステム①・② (一般競争)

質問・意見等	説明・回答
①と②では、導入する場所が異なるのか。	同じ医学部であるが、別の教員である。
同時に購入したら、安くなるのではないか。	依頼を受けた時期が異なり、公示期間が異なる。
予定価格に特別出精値引きは反映させてないのか。	特別出精値引きは、その時に使える値引きなので、特に決まりがあるわけではないが、予定価格には反映させていない。
①の落札者である△△△は、なぜ②に参加していないのか。また、①で例えば②の落札者である◎◎◎に参考見積書を徴取したりしないのか。	①の落札業者である△△△が②に参加しなかった理由は、確認していないので、わかりかねる。また、参考見積書は、応札の意思のある業者に依頼しているが、本学から応札の意思の確認を行うことはしていない。

7. 放射線被曝線量測定 (一般競争)

質問・意見等	説明・回答
前回契約と金額が大きく異なるのはなぜか。	使用する部局に予定回数を照会した結果、予定回数が前回より大きく増加したためである。
予定していた数量に達しない場合はどうするのか。	総価で入札しているが、実際の契約は単価契約としているため、単価×実際の数量で支払いを行っている。

8. 無線LANアクセスポイント増設（随意契約）

質問・意見等	説明・回答
元の情報ネットワークを〇〇〇が導入しているため、〇〇〇以外の業者が行う余地がないということか。	元の情報ネットワークの導入を行ったのが〇〇〇であるため、〇〇〇との随意契約となっている。
この場合の〇〇〇からの参考見積書の妥当性はどう判断するのか。	本学では積算出来ないため、参考見積書から予定価格を積算しているが、他大学への照会結果と比べても安価であったため、妥当と判断している。
財源は、補助金であるのか。	全額補助金となっている。

9. ScienceDirectの利用（随意契約）

質問・意見等	説明・回答
全部で約1億円であるが、いくつかのシステムから構成されているものか。	システムは1つであるが、コンテンツが別れているため、見積総額としては約1億円で、内容はコンテンツ毎の積上げとなっている。
電子ジャーナルは、大学の支出でも高額となっているが、実質、独占販売で、高騰をさせられない状況なのではないか。	出版元のコンテンツであるため、独占販売となっている。個々の価格交渉は出来ないが、大学の連合に加入し、連合が連合に加入している大学の値上がり幅が均一となるように交渉しているため、出版社の言い値となることはない。

【講評】

随意契約を除く競争について、本委員会立上げからの4年間を調査すると、複数の入札者があった競争の割合が年々減少している。多くの者から競争に参加いただきたいところであるが、減少傾向にあることをどうとらえるか。			
<年度>	<500万円以上の契約のうち随意契約を除く件数>	<複数者応札件数>	<割合>
平成29年度	110件	55件	50.0%
平成30年度	125件	42件	33.6%
平成31・令和元年度	80件	23件	28.8%
令和2年度	88件	16件	18.0%
予定価格は作成しているが、結果、参考見積額が予定価格になり、落札率も100%となっている競争が多く、競争性が働いているのかと不信に感じるところであるが、入札としている時点で機能しているのかと納得せざるを得ず、不完全燃焼であることは否めない。			